

担当は全て重点避難所指定

－速報、新潟県医療救護班 災害拠点病院等 第5班

新潟県医療救護班 新潟県立がんセンター新潟病院

今井洋介

災害名：東日本大震災
 派遣先：宮城県石巻市
 派遣期間：2011年4月4日～6日
 活動内容：診療所診療（住吉小学校、石巻市立女子高校）、避難所往診

〈石巻市状況報告〉

災害対策本部（石巻赤十字）ミーティング：朝8時、夕6時
 エリア4ミーティング（石巻中学校）：朝8時40分
 眼科巡回診療：毎週木曜日（門脇中、住吉中、山下小）
 自衛隊巡回バス定時運行：石巻赤十字病院行き
 保健師巡回4チーム、心のケア巡回チーム（住吉小連日）稼働
 寝たきり介護施設（遊学館）集約稼働
 石巻赤十字以外で2～3日の点滴対応開始：ロイヤル病院
 石巻市立病院仮診療所開設（採血・処方）：石巻市教育委員会（旧市役所近傍）
 災対本部の患者（要介護者、感染症、弾性ストッキング使用者）把握進行

〈診療状況〉午前（住吉小学校）午後（市立女子高）各10名程度

- 外傷患者：震災の日、胸まで水につかり一晩家族を待ち続けた
 左腕骨折、右下肢外傷、左下肢第2趾爪剥離
- 下痢・嘔吐と咳嗽の合併する感染症多数
- 認知症：内服拒否し下肢浮腫、口腔内カンジダ、咳嗽
- 心不全・喘息・てんかん既往：震災後労作時息

切れなど右心不全症状

- 震災後茫然としていたが3週間過ぎて内服していたことを思い出し受診
- うつ病若年男性：受診・往診拒否（母親受診）
 ⇒心のケアチームへ連携

〈診療所状況〉

住吉小学校：ライフライン（水道・電気・ガスなど）全て不通、避難所内収容者89名（周辺被災家屋内居住者700名）
 簡易トイレ満杯、周辺は瓦礫の山、1階はヘドロ堆積刺激臭伴う粉塵舞う
 市立女子高：ライフライン回復、4月21日始業式に向け避難所撤収の予定

- 瓦礫処理で手の外傷多数⇒テーピング、傷パッド、ハンドクリーム配布
- 口腔ケア用具（日本歯科大口腔外科田中准教授提供）⇒災害支援看護師へ
- サージカルマスク（瓦礫処理による粉じん対策）⇒避難者へ提供

〈医療救護班支援体制について〉

医療救護が主目的であるが、DMATと違い装備や食料の自立度が低く、医療救護班の生活支援体制が現地にほしい。他県は装備もDMAT並みである上に、医療救護班支援専門の人員配置があった。5時50分起床、6時50分出発で午後8時頃しか戻れない救護班に代わって、刻々変わる周辺状況の情報収集や後続部隊への指示など情報管理や、物品調達などが必要である。送迎車両のバスが大き過ぎるなど、臨機応変の対応が必要である。